

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2020-23
研究課題名	頸動脈ステント留置術後の頸動脈超音波検査の有効性についての検討
研究責任者	脳神経外科 伊藤清佳
研究期間	2020年6月1日～2020年11月30日
研究の背景・目的・意義・方法など	<p>頸動脈エコー(エコー)は、低侵襲で簡便な頸動脈ステント留置術(CAS)後の頸動脈の評価方法です。本研究では、当施設で行ったCAS後の追跡に、エコーが有効であることを示すことを目的とし、術後エコー所見と患者の経過について検討します。この研究は倫理委員会の審議に基づき、病院長の許可を得て実施します。</p> <p>通常の診療で得た内容(年齢、性別、症候の有無、緊急/予定手術の別、治療前の狭窄率、術前抗血栓療法、術前mRS(生活自立度の尺度)、ステントの種類(オープンセルステント:OCS、クローズドセルステント:CCS)、周術期合併症、エコーによる術後追跡結果、頻度、期間、追跡期間中の再狭窄、再治療の有無、時期、最終mRS)について収集し、研究します。</p>
対象者	当施設で2009年4月1日～2019年7月31日の間に、CASを行った患者
個人情報の保護	個人のデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)状態で、国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、お申し出下さい。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、ご希望に添えない可能性があります。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。
研究データの二次利用	本研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合がありますが、その際には、改めて倫理委員会の承認を得た上で、お知らせいたします。
問い合わせ先	京都岡本記念病院 脳神経外科 伊藤清佳 Tel 0774-48-5500